

太宰府市民の皆さん、 こんにちは!

**県議会議員
わたなべ美穂です!**



一般質問

6月議会報告

保育士の労働環境改善について質問しました。保育士の配置基準、とりわけ保育士一人に児童30名という4歳児以上の基準は70年以上変わっていません。民間団体の調査では、7割以上の保育所が今の人員でギリギリ、もしくは足りないと回答しています。一方で少子化のため6割の保育所が定員未満です。つまり定員に満たない保育所でも保育士の過重労働があるということです。そのため保育士の配置基準の変更を国に求め、県としても積極的にかかわることを要望し、知事も同じ認識の上で今後保育所にも聞き取り調査を行うと答弁しました。



次にヤングケアラーについてです。統計上いま小中学校の一クラスに二人程度いるといわれているヤングケアラー。県が要保護児童対策地域協議会（以下要対協）を通じて行った調査では、一番多いのは兄弟児のケア、次が母親となっており、平均毎日6時間程度介護やお世話をしているという実態がわかっています。しかし他県の調査では要対協で把握している数と実際の数が大きく異なっていることもわかっています。そこでわたなべ美穂は一番実態がわかる学校においての調査を提案しましたが、教育委員会が前向きではなかったため、その姿勢を問い合わせ、あらためて学校での実態調査を要望しました。

所有者不明土地問題法制化

昨年の決算特別委員会でわたなべ美穂は、所有者不明土地の中で管理が不十分なものについて、防災の観点から所有者を特定する必要を指摘しました。所有者を特定するために、現在目的外使用が禁じられている税情報などの利用を可能にする法改正を国に求めるよう要望していました。これを受けて、県では所有者不明土地協議会を通じて国へ要望し、この6月15日閉会した国会で法制化され、今後首長が必要と認めた土地については、自治体が持っている公的情報の利用・提供が可能になりました。

「還暦梅上げ丑寅会2021」梅上げ・紅葉上げ行事が終了しました

約2年間にわたってわたなべ美穂が実行委員長を務めた太宰府の伝統行事「丑寅会 梅上げ・紅葉上げ行事」がすべて終了しました。前代未聞のコロナ禍を縫って練り歩きも実施することができました。ご協力いただいた地域の皆さん、ご参加いただいた皆さん、実行委員会の皆さん、ありがとうございました。



全国初!

福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例制定

議員発議で本条例が全国で初めて制定されました。議員の中でも特に女性議員は候補者の段階から先輩議員や有権者から心無い言葉をかけられることが多く、これが女性の政治参画を阻害している原因の一つであるとして、それを防止する条例が制定されました。この条例は県議会議員だけではなく、県内全ての自治体議員に適用されます。わたなべ美穂個人としてはまだ不足を感じる部分もありますが、見直し規定を入れることができたため、この条例をより良いものに育てていくことができると判断し賛成しました。

||太宰府市長・市議会議員との意見交換会開催!||

年2回開催している市長・市議会議員との意見交換を行いました。大きな話題としては県道筑紫野古賀線の問題や移転が決定したとびうめアリーナ横の保健環境研究所跡地利用などについてでした。市議会から多くの質問や要望を受け予定時間もあつという間に過ぎました。



わたなべ美穂を囲む会再開!

コロナ感染症が落ち着いてきたことから、5月下旬より各公民館をお借りして県政報告会を再開しました。久しぶりの開催で懐かしいお顔を拝見し嬉しく思いました。参加された皆様から生活上の疑問や困りごとなど、多くの宿題をいただきました。わたなべ美穂はこれらの宿題を今後の政務活動へ活かしていきます。

皆様とのお約束です!

令和3年度政務活動費収支報告



県議会では会派に政務活動費が支給され、議員が必要経費を会派に請求し、会派から支給される仕組みになっています。

わたなべ美穂への支給総額 6,403,573円

(単位:円)

科目	支出額	備考
事務所維持費	3,263,071	家賃・光熱費・事務費・人件費総額の半額
議会報告	3,127,977	デザイン・印刷・全戸配布費用総額の5~10割(年4回) ホームページ管理費の半額、コロナ支援策チラシ経費、県政報告会経費
交通費	64,537	公費支給以外の負担分
その他	98,809	資料代の半額と研修会費
総額	6,554,394	

*費用負担の割合は、議会の申し合わせに従っています。政務活動費で負担していない経費は資金管理団体を通してわたなべ美穂が負担しました。



WEBサイトもご覧ください!

「皆さんの声をお聞かせください!」

あなたとつなぐ県政 わたなべ美穂 事務所

